



議員席に座る平館高校生の様子

ハチタン議会を開催

令和7年2月19日、八幡平市議会議事堂で、平館高校生と八幡平市議会議員による「ハチタン議会（模擬議会）」が開催されました。平館高校では、「八幡平探究（ハチタン）」という授業を通じて、地域の事業所や観光地を訪れ、地域の魅力や課題を研究しています。ハチタン議会では、その研究成果を発表するとともに、高校生が政治や地方行政に対する関心を高めることを目的に、主権者教育の一環として初の模擬議会形式で行われました。高校生が研究成果をもとに質疑を行い、その質問に対して議員が答える形で実施されました。

知ってほしいこと！ お知らせしたいこと！

平館高等学校について



ハチタンの成果を発表する生徒たち

主な質疑の内容

- Q** 安代りんどうの認知度を上げる方策について伺う。
- A** 東京オリンピックや冬季国体などのビクトリーブーケで知名度向上に努めてきた。現在は、海外への販売戦略を展開している。
- Q** 平館駅のベンチ・壁・看板に漆を塗ることで、利用者や観光客が増えるのではないかと考えるが見解を伺う。
- A** 漆を塗ることで、耐久性、耐水性、防腐蚀性などの効果がある。駅の漆塗りにかかる費用や効果については今後、検証が必要と考える。



沿革と概要

岩手県立平館高等学校は、昭和23年7月7日に県立沼宮内高等学校平館分校（定時制）として設立されました。翌年、昭和24年4月1日には全日制も併設され、県立平館高等学校として独立しました。現在は、普通科と家政科学科があり、それぞれに専門的なコースが設置されています。普通科は「就職コース」と「進学コース」、家政科学科は「ライフデザインコース」と「コミュニケーションコース」があります。令和7年4月現在、普通科の生徒数は61名（男子45名・女子16名）、家政科学科の生徒数は17名（男子10名・女子7名）で、全体で78名の生徒が在籍しています。また、学校の校訓は「開拓者精神」で、「自勝（自分の欲望に勝つ）」「自強（自分を励まして努力する）」「自立（自分の力でやっていく）」「自尊（自分にプライドを持つ）」を掲げ、これらの精神をもとに自ら課題を見つけ、主体的に解決に取り組む姿勢を大切に、他者と協力できる人材育成を目標に地域との連携や特色ある教育活動を展開している学校です。

魅力と特徴

スキー部は岩手県高等学校体育連盟指定強化拠点校（男女）、相撲部は岩手県スポーツ特別強化校、家庭クラブは絶滅危惧種でもあるムラサキを増やす「ムラサキプロジェクト」や、その根を染料として使用する紫根染の活動が全国から評価されています。生徒一人一人の個性や進路に合わせた学びが提供され、自己管理能力や協力の大切さを学び、社会で活躍できる力を身に付けることができます。

学科・コース紹介

普通科「就職コース」 簿記、情報処理といった商業科目を学ぶことができます。

普通科「進学コース」 進学実現のため、5教科のほか実技教科も偏りなく学ぶことができます。

家政科学科「ライフデザインコース」 保育・福祉の分野の科目を学び、福祉・事務系への就職や保育・福祉系の進学に対応します。

家政科学科「コミュニケーションコース」 地域文化に密着した科目を学び、地域産業などへの就職や調理・栄養など食に関する分野への進学に対応します。



高校生からの質問に答弁する議員

- Q** 市のコミュニティバスはこれまで乗っても100円で乗れる。運行にかかる財源について伺う。
- A** 運行事業にかかる不足額は約1億100万円であり、過疎対策事業債や特定防衛施設周辺整備調整交付金などが不足分の財源として充てられている。
- Q** 市の特産品は多くの種類があるが、知られていないものも多くあることが分かった。販路拡大のための取り組みについて伺う。
- A** 市の特産品は多くが個人や小規模企業によるものである。そのため、市商工会や

伊藤隆一 議長

近年、選挙の投票率は低下傾向にあり、若者の政治参加が課題であるため、主権者教育の推進が求められています。これから有権者となる平館高校生が、当市の課題や活性化策を考えることを通じて、政治や選挙への関心をより一層高めることを目的に「ハチタン議会」を開催しました。ご尽力いただきました平館高校の生徒、教職員の皆さまに深く感謝いたします。



校の生徒、教職員の皆さまに深く感謝いたします。